

社団法人農山漁村文化協会発行の「月刊 現代農業」

こんにちは。

禁つピイ向島園園主 向島和詞です。

日頃から、当園のポリシーへの賛同、お茶をご愛飲して戴きましてありがとうございます。

まず初めに、3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震の影響により、被害を受けられた皆様に、心からお見舞い申し上げますと共に、1日も早い復旧をお祈り申し上げます。また、被災地等におきまして、救援や復興支援など様々な活動に全力を尽くしていらっしゃる方々に、深く敬意と感謝の意を表します。地震の影響によります遅配なご迷惑をおかけしましたこと、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

今回の地震による影響や報道を見て、人間がどれだけ自然に支えられて生きているのか痛感しました。

自然災害はとてもなく悲惨なことです。しかしさうに、自然から頂いている命はもっと大きなことだと感じました。

いつも照っていてくれる太陽や呼吸するための空気、そして今回も大きな問題となっていますが、住む空間と骨髄です。

今では、当たり前に当たり前のものがありすぎて、なかなか意識できないのですが、やはり私たち人間が生きていられるということは、とてもない奇跡の連続であるんだと感じます。

今このことに改めて気づく余裕のある私たちが感謝しなければいけないと感じ、当園では、微力ながらこの状況に協力したいと思い、水やお湯だけで飲める粉末茶を災害地に送らせて頂きました。これは現地からの要請もあり、お茶は、精神安定効果や豊富なミネラルを持っていて、飲んだ時、安堵感やおいしいという幸福感を感じてもらい、少しでも癒されたら幸いです。

それでは、お茶請から現状の報告をさせて頂きます。

今年は、久しぶりに冷え込む冬となりました。 近年ここ静岡県では、あまり朝方氷が張る日が少なかったのですが、今年は毎日のように氷が張るほど本来の冬の姿を見させてくれました。 お茶たちも、久しぶりの冷え込みでびっくりしているかの表情でした。 寒い分だけ作物は甘みを増すので、今年は甘いお茶ができるごとを楽しみにしています。 ただ、新茶までの霜が心配ですが、来ないことを祈ります。

今年は、我が家にツバメが4/11日に来ました。昨年は、4/1日でした。概  
も約10日遅れです。ここ数年、温暖化の影響による暖冬で、季節が早く進  
んでいましたが、今年は昔ながらの天候でなにかほっとしています。

天候（自然）に、素直に順応している動植物を見て、知らぬ間にカレンダー通りに動いている自分を見直さなければなんて思つたりしました（＾＾）

これから茶畠には、新茶まで葉面散布（液肥）をします。愛情いっぱい注いだお茶が皆さんにお送りできるように、溢れんばかりの愛情を持ってお茶に・地球にすべての生あるものにたいして気持ちを散布していきたいと思います。

素晴らしい葉っぱなお茶、お届けさせて頂きます



急須の内側に帯状の網を張りめぐらせた様式のものです。茶葉が浸透しやすく、あらゆる茶葉に適しています。目詰まりしにくいところも特長です。



お楽しみに♪



## 湯のみ用のティーパッち とうもろこしフィルター(一 エギヤ本舗)



主に還る トヨタ一傳用



自家製  
瓦窯窓  
7000円  
トトロ1890円



卷之三

20